

2014年8月17日 主日礼拝

司 会 ①篠遠兄 ②当麻哲兄 ③大川牧師

奏 楽

祈 禱 ①石橋兄 ②多田兄

賛 美 聖歌646番「わざをなし終えて」(野口兄召天！)
(主イエスをほめよ)

3つの愛

聖 書 ① マルコによる福音書16章9～20節 (P81)

②③ マタイによる福音書16章13～20節 (P26)

音 楽 ① 北島美佐子姉 (白鳥直美姉)

②③ 砂川由紀姉 (田中隆美姉)

証 詞 ① 菅原与主愛兄 (青年会)

メッセージ ① 「信じた者のしるし」 菅原岳副牧師

②③ 「解き放て、平和 The Peace Release」

オカムラ・ケン宣教師

賛 美 「主よ終りまで」(讚美歌338番・献金)

頌 栄 「グロリア」(聖歌138番) アーメン

祝 禱

「平和をつくり出す人たちは、さいわいである、
彼らは神の子と呼ばれるであろう。」

(マタイ五の九)

【大和ニュース】

- * 来週の第3礼拝は「オープン礼拝」。伝道礼拝でもあります。特別賛美は J. ブッシュ女史。2時からはゴスペルコンサート。誘い合せてご出席ください。
- ・ 本日、入門講座Ⅲ、SS 教師会、送迎駐車場奉仕会、青年会あり。
- ・ 本日より「ヤンチャキャンプ」は松原湖。「学生キャンプ」は山中湖。乞！祈禱。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は坪井副牧師と大川牧師。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は佐々木伝道師。
- ・ 土曜祈禱会は、土曜夕方6時～7時。熱く祈ります！

石の枕

教会員の野口和雄兄が主の御許に召された。享年54。火曜に召天され、ご遺族のご依頼で、木曜の午後二時からの告別式となった。日曜日をはさまなかったので、お知らせが全員に届けられませんでしたがお許しください。

受洗は1983年ですので、座間の天台時代。大学生であった。高校時代は八百屋さんの裏の教会に来ておられた。愛妻家。二人のお嬢さんも大和教会員。「パパの愛を感じなかった日は一日もなかった」とのこと。涙はいっぱいだが愛情いっぱいの葬儀であった。病名は、右総腸骨動脈瘤破裂。

野口さんは、韓国の林時漢長老が憧れであった。チョウ・ヨンギ先生を支え、日本宣教に命を懸けた長老様。牧師のカバン持ちになって、世界宣教に仕えたいというのが夢であった。毎週金曜夜の祈り会で、講壇前に座して祈っている姿を想いかべる。主任牧師だけでなく、副牧師や伝道師にも声をかけ、励ましの賜物があった。

若いのに苦労をいっぱいしたが、今は天において安息。また三畑長老を中心に、すでに召された教会員たちと、賛美と祈りの会を盛り上げているだろう。ご家族の為にお祈り願いたい。「我らの国籍は天に在り！」。栄光は主のもの！

今から69年前の8月15日は、日本が戦争に敗けた日、終戦記念日である。敗戦記念日と言った方が正しいかもしれない。アジアの小国が、次々と他国を侵略し、戦火は広がっていった。広島と長崎に原爆が投下され、東京だけでなく日本中が焦土と化した。焼け野原。みじめなものであった。上野の山には、戦災孤児があふれていた。食べるものがなく、病いと飢えで苦しんでいた。

戦争も飢えも貧しさも知らない若者に告ぐ。戦争をする者は大バカだ。殺す側にも、殺される側にも立ってはいけない。戦争は大罪だ！心して平和を守れ！

「平和をつくる人は幸いである」とイエス様がおっしゃっているが、これは国と国との平和だけを指しているのではない。人と人、家族内の平和をも示す。

平和を産み出すためにケンカするのも、コツケイである。イエス様のように人を赦し、敵を愛し、迫害する者のために祈る者でありたい。「神と和らいで平和(平安)を得るがよい。そうしたら、本当の幸せがやってくる」(ヨブ22:21)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:ローマ15章～Iコリント5章 Bコース:詩篇107篇～119篇